

小型回転式マイクローム ERM-260S

【警告】

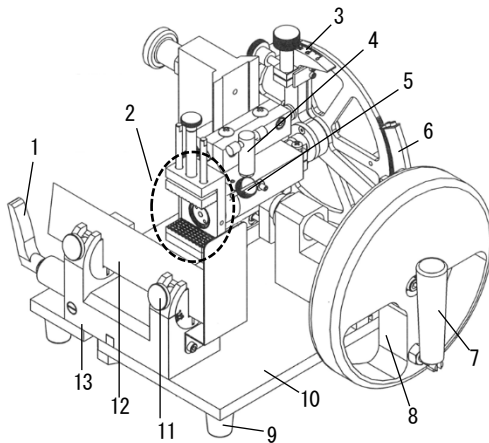
- ・マイクローム用の替刃・その他一本刀などのマイクローム刀は非常に鋭利であるため、取り扱いに注意してください。
- ・機器を分解したり改造したりしないでください。
- ・刀固定ねじと刀ホルダーはしっかりと固定してください。

【禁忌・禁止】

- ・マイクローム刀や替刃の刃先に触れないでください。
- ・包埋ブロックを脱着するときは、替刃ホルダーやマイクローム刀から試料が遠くなる位置で行ってください。
- ・不安定な場所にマイクロームを置かないでください。

【形状・構造及び原理等】

1. 外観図



- 1 : 刃固定装置クランプレバー
- 2 : 標本固定器
- 3 : 厚さ調節目盛
- 4 : パイス角度自在固定クランプ
- 5 : パイス角度自在ねじ
- 6 : 試料送り爪
- 7 : ハンドル
- 8 : フライホイール
- 9 : ゴム脚
- 10 : ベース板
- 11 : 刀固定ねじ
- 12 : 替刃ホルダー
- 13 : 刀固定装置

- 寸法 : 330(横)×260(奥行)×260(高さ)mm
- 重量 : 15 kg
- 標本の載片範囲 : 4 ~ 25 μ m(1 μ m きざみ)
- 標本サイズ : 33 × 33 mm
- 上下動距離 : 44 mm

2. 構造及び原理

刀は器械の前面に刀面を垂直にして固定されます。このとき刀固定装置は前後左右に動かすことができ、刀と試料片との距離、刀の使用部位、刀の傾斜等が調節が可能です。試料の切りたい厚さに目盛の数字を合わせて、微動装置の歯車に試料送り爪を引っ掛け、フライホイールのハンドルを手で回すと、一回転ごとに所要の厚さだけ標本固定器が水平に押し出されて、試料片を前進させます。それと同時に標本固定器が上下に動くことで、試料片が刃に触れて切断されます。

【使用目的又は効能】

組織試料の切片を薄片に削るために用いるマイクロームです。通常、試料は削り取る前にパラフィンワックスで安定（固定）させ、切片はフライホイールの回転ごとに削り取られます。

【使用方法等】

1. 本体を水平な場所に設置してください。
2. 薄切する対象物を標本固定器に固定してください。
3. 替刃ホルダーに刀を装着し適切な位置に調整してください。
4. 厚さ調整目盛を所要の厚さに合わせて、フライホイールのハンドルを回して標本固定器を前進させ、薄切対象物の切片作成を行ってください。
5. 使用後は刀および薄切対象物は取り外してきれいに清掃し、ハンドルをロックして保管してください。

【使用上の注意】

- ・【警告】、【禁忌・禁止】事項を必ず守ってください。けがや事故、器機の破損や動作不良につながる恐れがあります。
- ・刀は極めて鋭い刃物です。替刃の交換、替刃ホルダーや刀の脱着・調整、試料の脱着、その他マイクローム刀の付近で作業を行うときは、十分に注意してください。
- ・修理技術者以外の方は、分解・改造をしないでください。
- ・台が傾いている、マイクロームの水平が取れない等の場所には設置しないでください。

【保守・点検に係る事項】

- ・刀の使用後は刃面にパラフィンが付着しています。除去したのち、マイクローム油を塗ってください。
- ・通常、刀の一部しか使用しません。刀の一端から使い始め、そこが傷んだら次の新しい部分で切るようにしてください。
- ・刀を繰り返し使用する場合は、使用直前に刀を研ぐようにします。
- ・必要に応じて、マイクローム油をご使用ください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 : エルマ販売株式会社
住 所 : 〒342-0045 埼玉県吉川市木売三丁目4番地8
電 話 番 号 : 048-984-3138